



大阪教区「多宝塔ヒルクライム」(9/19) (天女山ヒルクライム(10/22) 予選) 開催報告書

(開催日時) 2016年(平成28年)9月19日(祝・月)午前8:20

(開催目的・意義)

平成28年6月30日の練習に続き、今回の9月19日も大阪府と和歌山県の境にある和泉葛城山の山頂を目指しました。天女山ヒルクライム(10/22)の予選としても開催させていただきました。スタート地点付近にある牛滝山大威徳寺は、弘法大師の修行地とされる由緒あるお寺です。ここに、国の重要文化財である朱塗りの多宝塔があることから、多宝塔出現(万教帰一の真理により、宗派争いが消え、世界平和が実現すること)を祈念しながら、今回は特に、『神・自然・人間は本来一体なり』を合言葉にして、自然の一部である自己の肉体を駆使し、ヒルクライムイベントを開催いたしました。

<チャレンジコース>

スタート：牛滝林道入口 ゴール：和泉葛城山山頂葛城神社前 和泉葛城山(岸和田側)
走行距離：約**7.1 km** 標高差：**577m** 平均斜度：**8.1%**

<ショートコース>

スタート：ゴール前**2.5km** ゴール：和泉葛城山山頂葛城神社前 和泉葛城山
(岸和田側) 走行距離：**2.5 km**

(参加者数)

出場者は、**男性 21名、女性 6名**(ショートコース3名)の**合計 27名**
(初参加者**13名**)

運営委員34名の、**総数 61名**で実施致しました。

※大阪教区では、6月30日の練習以後、自転車部への入会、自転車購入も増え、新しい方に、どんどん自転車の輪が広がっており、今回は、組織会員でない方、新しい壮年男性や大学生なども含め、27名の方が出走されました。13名が、初めてヒルクライム参加という快挙でした。

(出走者名) ※順不同

大阪：樋上 雅一・栄える会会長、樋上 和子さん、中井 亮太郎さん、
佐々木 あづまさん、河野 知足さん、山田 慶子さん、西新 知樹さん、
岡田 幸久さん、香川 和貴さん、香川 和博さん、井上 理子さん、田中 翔子さん、
山下 貴大さん、谷本 直之さん、恒岡 敏文さん、佐藤 祐史さん、三井 康生さん、
湊 靖征さん、森下 利貞さん

奈 良：各務 洋行・教化部長、池田 陽亮さん
三 重：寺川 昌志・教化部長
和歌山：山本 一信・教化部長、田畑 喜美夫さん
宇 治：新田 晃子さん
本 部：田中 慎太郎さん、松井 雅永さん、

(参加教区)

大阪、奈良、和歌山、三重、宇治、本部（順不同）から参加がありました。

※奈良教区の各務 洋行 教化部長、三重教区の寺川 昌志 教化部長、和歌山教区の山本 一信 教化部長がご参加下さいました。

※本部からは、松井 雅永さん、田中 慎太郎さんの2名にお越しいただきました。

※1位. 田中 慎太郎さん、2位. 松井 雅永さん、3位. 新田 晃子さんでした。



(天候)

当日は、台風が近づいて、雨天の予報でしたが、早朝から晴れ上がりました。

ヒルクライム開催に適した気温の中、自然の恵みに感謝しつつ開催させていただきました。

(PBS3部のムスビ)

- ①大阪教区 SNI オーガニック菜園部メンバーが、おむすび三種と野菜カツ（大阪地産のかぼちゃ、泉州産の水ナス等）、サラダスティック（大阪地産のきゅうり、人参、大根）、和歌山教区 SNI オーガニック菜園部メンバーより、10名のスタッフが加わり、和歌山県産の梅ジュース、みかん等を提供していただきました。



②大阪教区 SNI クラフト倶楽部からは、リストバンド、和歌山教区 SNI クラフト倶楽部か



らも、複数（孫の手、フェルトキーホルダー、しおり、アクセサリー、クリップ、スタッキングトレイ、毛糸のスマホケース、小物入れ）の参加賞、山本一信 教化部長が入賞者への（箸置き、バターナイフ）を自作して下さいました。

※PBS 3 組織（SNI 自転車部、SNI オーガニック菜園部、SNI クラフト倶楽部）が教区・組織の枠を超えて、交流が深め、前回に増してまさにムスビの力（団結）が深まりました。各部の特徴を生かした活動を行い、大自然との調和を体験出来る素晴らしい行事になりました。

（喜びと成果）

①ヒルクライムの中で、顕著な信仰体験が生まれました。（別紙添付）

②全員が完走し、無事にゴールすることができました。

③初参加者の内 2 名が組織会員でない方が参加されました。多宝塔ヒルクライムを通じて、生長の家の活動に参加したり、積極的に自転車を活用していくきっかけを作ることができました。

④今回の多宝塔ヒルクライムでは、和歌山教区 SNI オーガニック菜園部部員から 10 名の方が来られて、エイドステーションの応援に駆けつけて下さいました。

⑤よろこびの声。

・ヒルクライムをお世話して下さいました皆様方、有難うございました。今回は和歌山教区の皆様とのコラボもあり一段と活気があり、楽しいヒルクライムでした。身体はヘトヘトになりましたが、黄金色に穂を垂れた稲の傍に咲く曼珠沙華の花に秋を感じ、とても有難い一日でした。『神・自然・人間は本来一体なり！』ですね。（樋上 和子さん）

・樋上雅一・栄える会会長は、『神・自然・人間は本来一体なり』のコトバを、日訓のようにヘルメットに、ぶらさげて、衝撃的なスタイルで、登場されました。このとき、僕は、今日はこのコトバを胸に走ろうと心に、決めました。無我夢中で走っている中、『吾々自身が、多宝如来（神の子）なんだ。吾々自身が、「神・自然・人間は本来一体なり」をお伝えする多宝如来（神の子）なんだ』という声が聴こえて参りました。（河野 知足さん）

・お天気とも大調和して、多宝塔ヒルクライムが無事に終了出来ましたことを大変嬉しく思います。今回は大阪の天女山ヒルクライム予選も兼ねていて、大阪では、次点の私が出場することが決まり、これも神業と驚いています。大阪の熱い愛念と力を大事に大事に胸に抱きながら、代表として行ってきます。（岡田 幸久さん）



- ・皆さんの祈りの力なんではないでしょうか？雨予報から好転させる奇跡的な天候でしたね。急な坂道、かなりたいへんでしたけれど、全員が完走しましたし、僕自身も大きな達成感を味わいました。また、クラフト倶楽部、オーガニック菜園部とのコラボ、スバラかったですね。今回行われた多宝塔ヒルクライムは神様が主催し給うた芸術の祭典だと感じました。（西新 知樹さん）



(大阪教区 SNI 自転車部活動としての成果)

今回は、早朝から竹箒で落ち葉掃きをさせて頂き、自己の研鑽につながりました。初参加者の内 2 名が組織会員でない方が参加されました。多宝塔ヒルクライムを通じて積極的に自転車を活用していくきっかけを作ることができました。地域とのコミュニケーションを深め、自然重視・低炭素の表現活動を広めるきっかけとなりました。

(天女山ヒルクライム予選としての成果)

多宝塔ヒルクライムでの計測の結果、大阪教区では香川 和貴さんの次点で岡田 幸久さん、香川 和博さん、井上 理子さんが天女山ヒルクライム出場権を獲得しました。シニア部門では樋上 雅一・栄える会会長が会場されます。

(ライフスタイルの転換と今後の活動への展望)

- ①生長の家本部で行われる自然の恵みフェスタ（10月22日～23日）に、PBSメンバーは一人でも多く参加し、今後の大阪教区の自然の恵みフェスタに活かせるイベント内容を考案する。
- ②大阪教区開催の自然の恵みフェスタ（11月13日）を通して、新人の方にも自転車を利用する価値を知って頂き、さらなる SNI 自転車部員と自転車の購入者の増加を目指します。
- ③大阪教区 SNI 自転車部メンバーとペダルで進める自然エネルギー拡大運動を前進させ、毎月一人でも多くの方とお会いし、自己の肉体を使って世界平和に向けて活動します。
- ④facebook 等の SNS を駆使し、喜びを拡散をして、「神・自然・人間は本来一体なり」を合言葉に宣布します。

自転車通勤、自転車通学を増やし、炭素ゼロの運動を着実に広めてまいります。その為にも、まずは自身を手本に通勤、通学、買い物等あらゆる面で自転車を使用する頻度を増やします。

(多宝塔昼クラム準備事項)

- 8/19 多宝塔ヒルクライムの案内を大阪、和歌山と近隣教区教化部長へ発信。
- 8/24 多宝塔ヒルクライム開催要項、概要の作成をしました。
- 8/25 多宝塔ヒルクライム受付開始 facebook に申込みフォームを掲載後、名簿の作成。
- 9/5 兵庫教区へのヒルクライム参加案内、今回は教化部長の異動、行事の翌日もあり、次回には参加したいと力強いお返事を頂きました。
- 9/6 多宝塔ヒルクライムコース図、誓約書、運営委員の配備部門考案、タイムプログラムの作成をしました。
- 9/11 エントリー切、同日出走順の作成、自転車を所持していない方は大阪教化部のスポーツバイク 3 台を貸出しました。
- 9/12 和泉葛城山の道路状況の下見、10 名での清掃を予定して、特に危険な箇所の特定をして、コース図に追記しました。
- 9/15 雨天の判断基準を運営責任者・樋上 雅一栄える会会長、大阪教区職員を交えて打ち合わせをしました。
- 9/17 大阪教化部職員での意識統一の為の打ち合わせ、facebook で個人宛のメッセージを参加者全員に開催直前の連絡（開催要項・コース図・出走順、誓約書）を送信
- 9/19 AM6：00 時点の天候で開催を判断しました。
AM7：00 SNI 自転車部メンバーと大阪教化部職員で多宝塔ヒルクライムコースの清掃

(反省事項)

- ・運営事務局担当を SNI 自転車部員から 2 名（西新、山下）で行い、全体を把握して、チェックしながらすすめるべきでした。
- ・計画書類を提出するのが遅くなってしまい、ヒルクライムの案内がおそくなってしまいました。次回からは 2 ヶ月前に提出したいと思います。
- ・タイムプログラムを開催日の 1 ヶ月前には用意しておくべきでした。
- ・1 ヶ月位前にタイムプログラムを作成した段階で、すぐに、大阪教区 PBS 責任者も含めた全体運営委員会を行い、何度も意識を共有する必要がありました。
- ・運営体制の中に部門長を設けて、部門内を把握する人が必要でした。